

Phak chii

29年 8月号

朴廷熙公認会計士事務所

〒542-0081

大阪府中央区南船場 1-16-10 大阪岡本ビル5階

電話：06-6264-6135 FAX：06-6264-6136

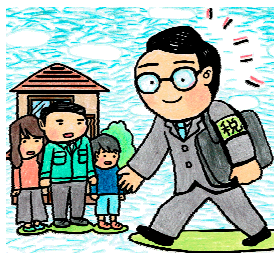
お盆休み 8月14日(月)～16日(水)



毎年、春、夏、冬に期間限定で発売される「青春18きっぷ」。JR全線の普通・快速列車が一日乗り放題になることは知っていても、若者だけでなく誰でも使えるということは意外と知られていないようです。『青春18きっぷで楽しむおとなの鉄道旅行』などの関連本も出ています。この夏、電車旅に出かけてみませんか。5枚セットで日帰り旅行にもぴったり。

法人税の実地調査を受ける確率は何%?

税務調査はさまざまありますが、おおよそ 課税処分のための調査「滞納処分のための調査」 犯則事件のための調査」の3つに分類できます。課税処分のための調査」とは、課税処分をするための資料を収集することを目的とした調査です。納税者の申告内容が正しいかどうかを判断するために、帳簿や請求書などの書類をチェックします。これは国税通則法に規定されている質問検査権に基づく調査になります。滞納処分のための調査」とは、滞納になっていない税金がある場合、滞納処分手続きをするにあたり滞納者の財産の有無・所在・種類・数量・価額・利用状況・第三者の権利の有無などを明らかにする調査です。これは国税徴収法による調査となります。犯則事件のための調査」は、査察調査のことを指します。不正の手段を使い故意に税を免れた場合には、正当な税を課すほかに刑罰を科すことが税法に定められています。この調査は、裁判官の許可を得ているので任意調査ではなく強制捜査になり、実質的には刑事手続きと同じように進められます。国税庁の発表によると法人税の実地調査件数は、平成二十四事務年度 9.3万件、平成二十五事務年度 9.1万件、平成二十六事務年度 9.5万件となっています。日本の法人数が約260万社ですから、実地調査は3.5%前後の割合で行われていることとなります。



オイシイ!

宮島うえの穴子弁当



李です。先日、安芸の宮島観光へ行きました。新幹線で広島駅へ行き、そこから在来線で宮島口、そしてフェリーで宮島、というルートです。宮島口駅前の売店で、「うえの」の穴子弁当を予約、約2時間の宮島観光後に予約した穴子弁当を受け取って12時発の岩国往きの電車に乗車。ガラガラの車内で早速ほかほかの穴子弁当を頬張りました。炭火焼の香ばしい穴子ご飯の上にとっぷりのって贅沢! 1944円と高価ですが、是非、また食べたいと思う逸品でした。

【今月の教えてキーワード：格安スマホ】

格安SIMカードで運用するスマートフォンのこと。事業者が、NTTドコモやKDDI、ソフトバンクなど大手携帯電話会社の回線を借りて独自に展開する通信事業で、実店舗をあまり持たないなどのコストダウンにより大手事業者よりも安価なサービスを実現している。SIMとは契約者を識別する規格で、音声通話やデータ通信を行う際にはSIMカードが必要となる。SIMカードと端末のセット、カードだけでなくさまざまな販売形態がある。

【「最良」の反対は？】

「成功」の反対は何でしょう。今では小学校でも使われるくらいよく知られた問い掛けです。成功の反対は「失敗」ではなく「何もしないこと」、または「チャレンジしないこと」ではないでしょうか。思うような結果が得られなかったとしても、それは成功の種まきだったというわけです。では「最良」の反対は何でしょう。辞書には「最良の反対は最悪」と書かれていますが、もちろん辞書的な意味を問い掛けているわけではありません。

「最良の反対は良である」と言ったのは、主に自費診療を提供している歯科医のK氏でした。保険という制度のある日本では、保険診療をしたほうがビジネスとしては楽かもしれません。けれど本当に必要な歯科医療を提供しようと思ったら、保険制度の中で無償の部分を増やすか自費にするかの難しい選択だそうです。

K氏自身、以前は保険請求できない部分は修行だと思って辛抱し、患者の健康のためにそこそ良い診療をしている自負がありました。「まあまあなことはしているから、この程度でも他の歯医者よりは良いことをしているはずだ」。そうやって自分を鼓舞する反面、常に頭から離れないのは「これはベストな診療なのだろうか」という迷いでした。



そんな葛藤の日々の中でK氏が出会ったのが、先輩歯科医であるY氏の「最良の反対は良である」という言葉だったそうです。「そこそ良い」は「ベストを尽くすこと」を妨げる。「まあまあ良いことをしているから」という思いでいると、その先の一步、さらにもう一步がなかなか出ない。

Y氏の言葉にK氏は背中を押されたと言います。

「そこそやっているけれどベストではないことは分かっている。分かっているながらも現実に向けてきた自分と向き合うときが来たのかもしれない」と。

誰もが上を目指す必要はありません。ただ、自分なりのベストを追い求める商売ができれば、きっと良い人生になるだろうと想像します。

今月の いろいろ 「掲示板」

セミナー報告

7月14日に当事務所恒例のセミナーを開催しました。暑い中、今年も大勢の方にご出席していただき大変感謝しております。今回は、「税制改正」「マイナンバー」

「共通報告基準」の3つのテーマで行いました。私は「税制改正」について担当しました。

人前で話すのは大学の卒論発表以来の経験でしたので、緊張して上手く説明できず、分かりづらい点多々あったと反省しています。この経験を今後に活かしていきたいと思います。

中瀬誠治



言葉は心の足音である

臨濟宗の僧侶である松原泰道の言葉。言葉は人を傷付けもし、また生きる喜びや明日への勇気も与える。できるだけ心を穏やかに保ちながら話し掛けたいものだ。